



nite

National Institute of Technology and Evaluation

独立行政法人 製品評価技術基盤機構

1/3

NITE は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

## News Release

令和2年7月31日

N I T E (ナイト)

独立行政法人製品評価技術基盤機構

法人番号 9011005001123

# NITE は地球環境や動物福祉に配慮したアパレル製品の普及の推進を認定の仕組みで応援します

NITE (ナイト) [独立行政法人 製品評価技術基盤機構 理事長: 辰巳 敬、本所: 東京都渋谷区西原] は、テキスタイル・エクステンジ<sup>※1</sup> 認証制度 (TE 認証制度) における認定機関として、本日、令和2年7月31日から同制度の認証機関の認定サービスを開始しました。

TE 認証制度は、地球環境に優しいオーガニックコットンやリサイクル繊維、動物福祉に配慮されたウールやダウンを使用したアパレル製品などを対象とした国際的な認証制度で、SDGs (持続可能な開発目標)<sup>※2</sup> 達成にも貢献できるアパレル製品の普及を推進しています。既に、大手アパレル企業が同認証制度を調達要件として活用し始めるなど、この認証制度は、今後、大きく普及していくことが期待されています。

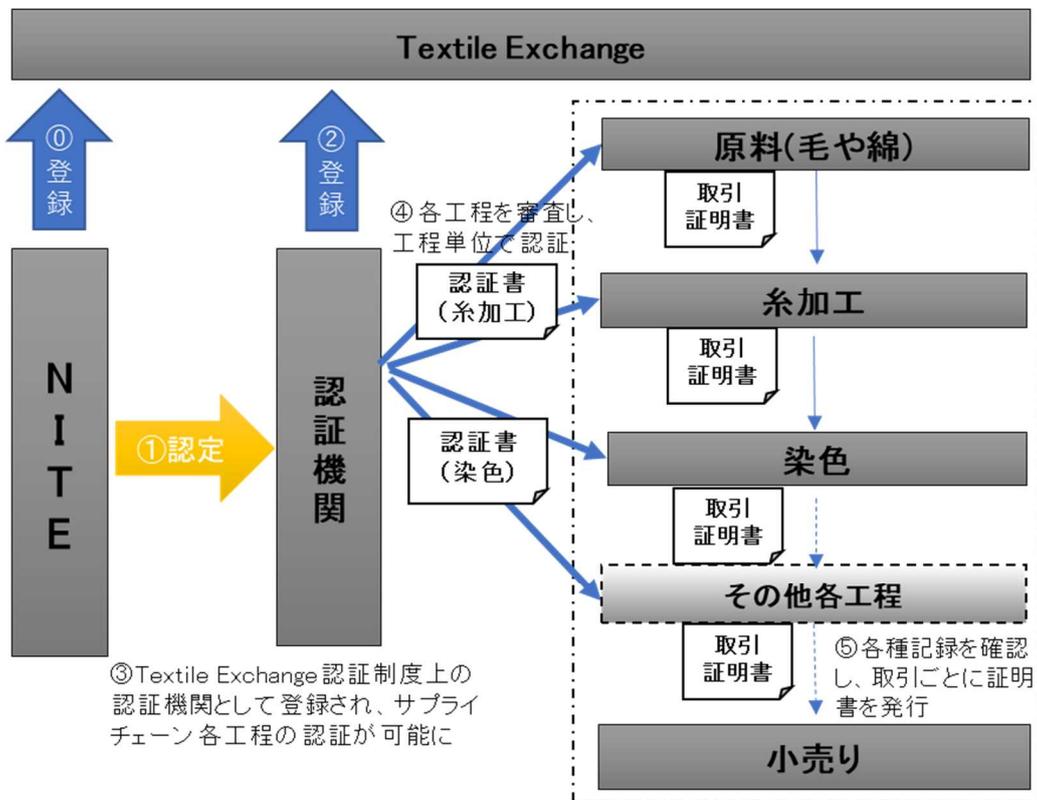
この度、NITE が TE 認証制度の認定機関としてサービスを開始することによって、今後、国内で同認証制度の認証機関が活動を開始し、TE 認証を取得しやすい環境が構築されます。これにより、日本のアパレル製品が TE 認証製品となれば、地球環境や動物福祉に配慮した製品であることが証明され、アパレル企業は高い倫理観をもつ消費者に対しても自社製品の適切性を強く訴えることができます。また、TE 認証の取得によって、日本のアパレル企業の競争力を強化することが期待されます。

1. NITE は、米国の NPO であるテキスタイル・エクステンジ (Textile Exchange・略称 TE) が運営する国際的な認証制度に参画し、同認証制度の登録を受けて、環境保全、人権や動物福祉に配慮した製品の認証を行う機関の認定サービスを開始しました。
2. 先進国の企業や消費者が「SDGs」や、「倫理的消費 (エシカル消費)<sup>※3</sup>」を意識することによって生じた社会的な変化 (例えば、オーガニック製品を選んで購入する/衣服の大量廃棄に関する問題や地球環境への負荷を考え、リサイクル繊維でできた衣服を購入する/動物福祉のため、残酷な方法で刈り取られた毛を使用したウール製品等の購入を控える/児童労働・労働力の搾取により生産された製品の購入を控える など) を背景に、国際展開している国内外の大手アパレル企業は TE 認証制度に参加し、自社製品が環境保全、人権や動物福祉に配慮した製品であることを消費者に対して証明しようとする動きがあります。既に、TE 認証の取得を調達要件に課す大手アパレル企業が現れるなど、同認証制度は、大きく普及していくことが期待されており、TE 認証を受けていない製品は今後、流通に大きな支障をきたすおそれがあります。



NITE は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

3. NITE ではこうした社会的な変化に着目し、日本でいち早くテキスタイル・エクスチェンジ (TE) より認定機関として正式な登録を受けました。これにより、NITE は TE 認証制度に必要な認定サービスを提供します。そして、この認定サービスを利用する国内認証機関が増えることにより、国内で迅速に TE 認証を取得できる体制が構築されます。日本のアパレル関連企業はこの認証制度を利用することで、自社製品を TE 認証製品として地球環境や動物福祉に配慮した製品であることを証明し、高い倫理観をもつ消費者に対しても自社製品の適切性を強く訴えることができます。日本のアパレル関連企業は、国内外の大手アパレル企業が調達要件とする TE 認証を満たすことが可能となり、競争力の維持・強化や SDGs への貢献が期待されます。



サプライチェーン全体の信頼性確保が可能に

認証製品を識別するためのマーク（リサイクル繊維の場合の例）





#### ※1 テキスタイル・エクスチェンジ

2002年“Organic Exchange”としてその活動をスタートさせたアメリカ・テキサス州に本部を置くNPO/NGO。25以上の国から260以上の企業や団体が加盟している。

テキスタイル・エクスチェンジはブランド、小売業者、工場、原料のサプライヤーや農家などの主要な利害関係者を一同に集め、サステナブル繊維の社会的／環境的利点を学ぶことで、サステナブルな素材がより浸透することを目的とした新しいビジネスモデルやツールを開拓している。主な活動内容は、①利害関係者の情報交換の場を提供、②グローバルなデータの収集と提供、③国際認証基準の策定と運用、の3点がある。

2020年7月時点で欧米アジアの6認定機関が及び欧米・アジア・南米の18認証機関がTextile Exchangeに登録しており（日本の認定機関や認証機関は登録されていない）、Textile Exchange制度でこれまでに13,824件の認証件数が発行されている（このうち日本企業の認証取得件数は81件）。

人気ファストファッションブランドのZARA、H&M、UNIQLO、GU、GAPなどがメンバーとなっているほか、日本でも人気のハイブランドのLouis Vuitton、Dior、Fendiなどが属するLVMHやBurberryやGucci (Kering)などもメンバーに名前を連ねるなど、多くのアパレル企業から注目されている。

外部リンク：テキスタイル・エクスチェンジ メンバー一覧

<https://textileexchange.org/members/>

#### ※2 SDGs (持続可能な開発目標)

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標のこと。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っている。

外部リンク：SDGsとは？[外務省のページ]

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html>

#### ※3 倫理的消費 (エシカル消費)

消費者それぞれが各自にとっての社会的課題の解決を考慮したり、そうした課題に取り組む事業者を応援したりしながら消費活動を行うこと。

外部リンク：倫理的消費 (エシカル消費)とは？[消費者庁のページ]

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer\\_education/public\\_awareness/ethical/](https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_education/public_awareness/ethical/)

お問合せ先

独立行政法人製品評価技術基盤機構

認定センター所長 岸本 勇夫

担当者 稲葉、橋本、大西

メールアドレス：asnite-p@nite.go.jp